**キャリア・パスポート（学年初め）　授業案**

（１）中学校第２学年　特別活動

（２）学級活動　（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

　　　ア　社会生活，職業生活との接続を踏まえた主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

（３）題材　『自己理解を深め，今後の目標を立てよう』

（４）本時の学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入  （5分） | ○今までの学校生活を振り返り，印象に残っている出来事や場面をクラス全体で出し合う。　（全体：3分）  ○過去の学びを記録して残し，それをもとに振り返ることを通して現在の自分を見つめ，将来に向けて目標を立てることが大切であると理解する。 | ●今までを振り返りながら，発言しやすい雰囲気をつくる。  ●キャリア・パスポートを記述する意味について明確に伝え，生徒に配布する。 |
| 展開１  （20分） | ○キャリア・パスポートの「私の自己ＰＲ」を記入する。  →グループ内で「私の自己ＰＲ」について１分間スピーチできるよう準備する。　　　　（個人：5分）  ○記入後，グループで順番に１分間スピーチを行う。  　各スピーチ後に，聞き手はスピーチに対するコメン  　トを行い，発表者に対する気づき等を発表する。  （スピーチ1分→コメント30秒　×6回分）  ○スピーチ内容を考え，他者からコメントをもらうことで自己理解を深め，自分のよい点に気付くとともに今後の目標設定にも生かすことができる。  ○他者のコメントから，新たに気づいた内容があれば  　「私の自己ＰＲ」の欄に書き加えてよい。 | ●授業全体が，記入のみの時間とならないよう留意する。  ●スピーチを行う前に，自分と向き合う時間を大切にする。  ●書き進められない生徒については，授業者が普段の関わりを生かした肯定的な声かけでサポートする。ただし，無理に書かせることは避ける。  （その際，キャリア・カウンセリングシートを活用する）  ●人数が違い時間が余るグループ等は，まだ書けていない項目の記入の時間に充てる。 |
| 展開２  （15分） | ○「将来の夢」，「そのためにつけたい力」および「理想の中学生のイメージ」について，それぞれキャリア・パスポートに記入する。 　　　　　 （個人：5分）  〇自分の将来の夢（なりたい大人）に近づくにはどのような力が必要になるか，全体で意見を共有する。  （全体：5分） | ●生徒が記入している間に，「つけたい力」について発表してもらう生徒を決めておく。  ●話し合った“つけたい力”が，終末における各自の目標設定に生かされるようにする。 |
| 終末  （10分） | ○「これからの自分・なりたい自分」について，「学習面」「生活面」「家庭・地域」「その他」における目標  　およびチャレンジしたいことを意思決定する。 | ●今までの内容を生かし，各個人がキャリア・パスポートに記入できるよう助言する。 |